

令和3年 6月吉日

津田天満神社氏子の皆様へ

津田天満神社総代会

茅の輪設置のお知らせ

初夏の候、皆さま方におかれましては益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。

さて、今年も早いもので半年が過ぎようとしております。

そこで、津田天満神社では6月26日(土)から7月4日(日)まで茅の輪を設けておりますので多くの皆様のご参拝をお待ちしております。

尚、ご参拝に際してはマスクの着用やソーシャルディスタンス等、ご自身で出来る新型コロナウイルス感染予防対策の実施をお願いします。

【茅の輪神事について】

茅の輪神事は、「ちのわしんじ」と読む。茅の輪をくぐり超えて罪穢れを除き、心身の清浄ならんことを祈請するので、「輪越祭」「茅の輪くぐり」とも称する。

茅とは、ち、かや、ちがや、であって、菅、薄など、多年生草木の総称である。

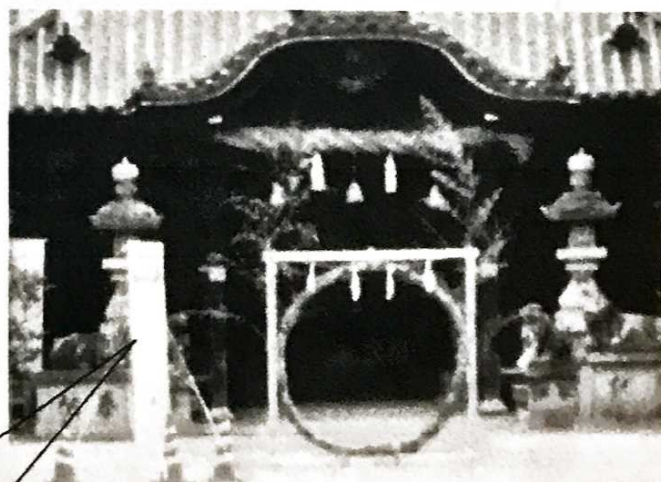
茅の輪の起源については、釈日本紀七に、備後風土記逸文を引用し、素戔鳴尊が蘇民将来の家を訪れ、「若し天下に悪疫が流行した際には、ちがやを以て輪を作り、これを腰に著けてをれば免れるであらう。」と教え給ふた。この故事に基づき、祓いの神事に茅の輪を作ってこれをくぐり越えるようになったのである。

茅の輪神事は、一つに「夏越祓」とも「名越祓」とも書く。夏越と称するは、旧暦では、六月の晦は四、五、六月が夏であるから、夏越しに当たるとする。また、なごしは「和こし」「和難」で、人の心を和やかにするのであると云う説もある。

即ち、禍を除き、人々の不満を除けば、平和になることが出来ると願うことである。

【茅の輪くぐりの作法】

- 1:茅の輪の前に立ってご社殿に向かって一礼をします。
- 2:茅の輪をくぐって左に回り、茅の輪の正面に立ってまた一礼をします。
- 3:茅の輪をくぐって右に回り、茅の輪の正面に立ってまた一礼をします。
- 4:茅の輪をくぐって左に回り、茅の輪の正面に立ってまた一礼をします。
- 5:最後に茅の輪をくぐってそのまま社殿へ進みご参拝ください。



(昨年の茅の輪設置の様子)

境内にも茅の輪くぐりの作法について看板が設置されています